

「水生生物調査」を実施し、川の健康を調査しました

H27.8.12

～「水難事故防止講習」及び、「一日“水質調査”係長」も同時開催しました～

～琵琶湖河川事務所～

- 琵琶湖河川事務所では「水生生物調査」を、野洲川で7月22日（水）、8月4日（火）、瀬田川で8月10日（月）の3日間実施しました。今年度も、近隣中学校の科学部に所属する合計52名の生徒等に参加していただきました。この水生生物調査を機会に川の大切さや自然環境の保全への関心をもつきっかけになればと考えています。
- 水生生物調査の実施にあたり、参加者に対して「水難事故防止講習」を実施し、正しいライフジャケットの着用方法や、安全な川の楽しみ方について説明を行いました。
- 琵琶湖河川事務所では職員の技術力向上のため「一日〇〇係長」の取組みを行っており、水生生物調査に合わせて「一日“水質調査”係長」を実施しました。京都国道事務所、琵琶湖河川事務所の若手職員（4名）が参加し、川の水質について水生生物調査を通じて学びました。

イベント概要

日時：7月22日(水)、8月4日(火)、8月10日(月)
10:00～12:00
場所：瀬田川・野洲川
参加者：中学生3日間合計52名(引率先生4名含む)
主催：近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所
協力：私立立命館守山中学校、守山市立守山南中学校、
大津市立瀬田北中学校

調査位置図



水生生物調査の様子



水難事故防止講習



一日“水質調査”係長



■水生生物調査結果

調査地点	野洲川 (7/22)	野洲川 (8/4)	瀬田川 (8/10)
水質階級	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ

水質階級は、野洲川は2回とも判定の結果、「Ⅱ：ややきれいな水」（昨年度も「Ⅱ」）、瀬田川では、カワゲラ類やヒラタカゲロウ類、ナガレトビケラ類、サワガニが見つかり、判定の結果、「Ⅰ：きれいな水」となりました。昨年度の水質階級は「Ⅱ」でしたので、今回はワンランクアップしました。

■参加者の感想（中学生より）

- ・石に砂がついているのは、生物のすんでいる証拠であることを初めて知りました。
- ・石をひっくり返すだけでも多くの水生生物が発見出来ることに驚きました。
- ・去年に引き続き二回目の参加となりましたが、今年も多くの生き物が見つかって良かった。水質も綺麗で良かった。

■参加者の感想（「一日“水質調査”係長」体験者より）

- ・川に多様な虫が生息し、川のきれいさを判断する指標のひとつとして重要な存在だということを理解することができました。
- ・今後、こういった調査等に携わることがあれば、今回のことを思い出しながら取り組んでいきたいと思ひます。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 河川環境課
〒520-2279 大津市黒津4-5-1
TEL 077-546-0867

